

《Japan Tariff Association》

関税 メールプレス

(No. 721) 2024. 2. 26 発行元：日本関税協会 長崎支部

Tel:095-825-0557 Fax:095-825-1748

<https://www.kanzei.or.jp/nagasaki/>




長崎税関貿易統計【特集】



(資料提供：長崎税関)

長崎税関調査部統計課では、2024年1月の貿易概況（速報）に併せて『特集 長崎県とインドネシアとの貿易動向について ～ 吾輩のルーツだにゃん ～ 』が発表されましたので、概要をご紹介します。

なお、詳細な資料につきましては、以下の長崎税関ホームページにアップされていますので、是非ご覧ください。

長崎税関 > 貿易統計【特集】 長崎県とインドネシアとの貿易動向について ～吾輩のルーツだにゃん～ (PDF;1.01MB) 

https://www.customs.go.jp/nagasaki/toukei/R06.02_tokusyu_2.pdf

長崎県とインドネシア^(注)との貿易動向について

～～吾輩のルーツだにゃん～～

2024年2月22日
長崎税関調査統計課

1 はじめに

坂の街「長崎」では、至る所で「猫」を見ることができます。この「猫たち」、よく見ると尾が曲がっているため「尾曲がりネコ」と呼ばれており、長崎に住む猫の約80%を占めています。「尾曲がりネコ」、世界的に密集して生息している地域は長崎とインドネシアです。江戸時代、長崎は南蛮貿易の窓口となっており、「尾曲がりネコ」は南蛮船に乗って長崎にやってきたものと言われています。今回、「尾曲がりネコ」のルーツであるインドネシアと長崎県との貿易動向について調査しましたのでご紹介します。

2 貿易額の推移

長崎県とインドネシアの貿易額の推移は次のとおりです。



3 輸出入される主な貨物

(注) 正式名称は「インドネシア共和国」ですが、本資料では「インドネシア」と表記します。

【輸出】

「一般機械」、「船舶類」、「金属製品」などとなっています。2018年は火力発電所向け発電機等の輸出があり、輸出額が増加しています。

【輸入】

「石炭」、「果実及び野菜」などとなっています。2022年は石炭価格の高騰に伴い輸入額が増加しています。

4 さいごに

1571年に長崎が開港して以来、ポルトガル・オランダ・中国をはじめ多くの人々の来訪とともに、さまざまなものが長崎に上陸しました。

冒頭に紹介した「尾曲がり猫」もその一つと言われています。

現在、日本が締結しているEPA（経済連携協定）は20本となっており、インドネシアとは2008年7月に発効され、両国間における人・物の交流拡大に繋がっています。

長崎においてもインドネシアをはじめ多くの国々との交流が発展していくことを願っています。

本資料に関する問い合わせ

長崎税関 調査部 調査統計課 25095-828-8659（直通）
〒850-0862 長崎市出島町1番36号
長崎税関ホームページ <https://www.customs.go.jp/nagasaki/>
※本資料を他に転載する時は、長崎税関の資料による旨を必ず注記して下さい。



(注) 本資料における貿易額は、長崎税関（本関）、佐世保税関支署、長崎空港出張所及び門司税関税関支署が管轄する区域に設置された貨物の通関額。

～～資料編～～

資料 1 長崎県とインドネシアとの貿易額の推移について

- (1) 長崎県の貿易額に占める構成比
- (2) 主要品目の推移
- (3) 石炭の輸入状況

資料 2 インドネシアの概要等について
～インドネシアの国勢状況～

資料 3 貿易公表の特集記事に関連して
～貿易統計についての豆知識～

資料 4 こぼれ話
海上保険の契約条件について など



あれれ～、しっぽが曲がっちゃった～
今回は「尾曲がりカスタム君」としていま～す

※「カスタム君」は麻原探知犬をモデルにした
機関イメージキャラクターです。

長崎県とインドネシアの貿易額の推移について

～～長崎県の貿易額に占める構成比～～

○ 輸出

(億円)

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
輸 出 額	3,163.2	2,774.8	3,381.3	3,213.3	2,835.3	3,136.2	2,040.9	1,659.0	1,571.8	1,910.3
内 インドネシア	5.5	2.8	6.8	36.3	189.7	46.7	79.7	32.6	0.5	13.4
構成比	0.2%	0.1%	0.2%	1.1%	6.7%	1.5%	3.9%	2.0%	0.0%	0.7%

○ 輸入

(億円)

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
輸 入 額	2,182.0	1,795.5	1,426.3	1,877.1	2,223.2	1,751.0	1,541.6	1,950.0	6,534.8	4,099.3
内 インドネシア	347.2	276.7	218.9	267.5	382.2	266.7	190.2	347.0	984.9	560.8
構成比	15.9%	15.4%	15.3%	14.3%	17.2%	15.2%	12.3%	17.8%	15.1%	13.7%

長崎県の輸出入額に対するインドネシアの構成比を表にしたものです。
ちなみに、2023年の実績で金額が最も大きかった相手国は、輸出がリベリア、輸入はオーストラリアです。



長崎県とインドネシアの貿易額の推移について

～～主要品目の推移～～

○ 輸出

(千円)

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
輸 出 額	548,536	275,677	682,085	3,632,801	18,974,303	4,671,140	7,972,144	3,264,288	51,187	1,344,012
一般機械	528,093	223,703	288,433	2,821,039	16,604,171	3,832,567	1,471,736	68,279	50,643	1,295,530
船舶類				61,000			6,420,351	3,144,319		
金属製品	8,508	51,394	6,689	729,509	2,260,720	288,841	3,203	9,803	204	33,012
電気機器			341,560		90,030	531,494	51,159			
バルブ及び古紙			11,041	1,723	8,407	14,362	8,634	40,607		2,352
鉄鋼	10,341	600	20,461	664						3,574
ゴム製品	696			9,475		3,602		1,280	340	3,357
その他	898	0	13,901	9,391	10,975	274	17,061	0	0	6,187

○ 輸入

(千円)

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
輸 入 額	34,721,769	27,671,536	21,886,028	26,754,972	38,224,244	26,669,942	19,021,595	34,701,768	98,099,681	56,081,393
石炭	34,567,890	27,504,534	21,817,428	26,690,529	38,170,284	26,603,824	18,875,985	34,558,964	98,404,973	37,526,266
船舶類										18,495,220
果実及び野菜	18,267	12,540	2,409	57,893	33,303	35,609	54,933	42,303	54,948	9,581
その他の調製食品	76,272	121,590	29,521				16,932			
一般機械							60,528			50,336
木材及びコルク	13,986	27,989	29,920		20,132	9,784				
液化石油ガス	39,025								19,024	
木製品及びコルク製品(除家具)							11,458	5,990		
その他	6,329	4,883	6,750	6,550	525	20,725	1,759	94,511	15,736	0

長崎県とインドネシアの貿易額の推移について

～～石炭の輸入の推移～～

金額単位：億円
数量単位：MT

		2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
金額	長崎県	960	807	790	1,047	1,470	1,140	907	1,309	5,635	2,942
	内、インドネシア	340	275	218	267	382	266	189	345	994	375
	構成比	35.0%	34.1%	27.5%	25.5%	26.0%	23.3%	20.9%	26.5%	17.6%	12.8%
数量	長崎県	10,400,872	10,502,385	10,090,466	10,279,128	12,085,549	11,179,156	12,400,414	8,656,905	13,805,004	9,441,630
	内、インドネシア	4,081,929	3,474,504	3,332,940	3,088,988	3,688,976	2,919,071	3,607,198	2,422,002	2,474,316	1,472,704
	構成比	39.2%	32.8%	33.0%	30.0%	30.5%	26.3%	29.2%	27.9%	17.6%	15.6%

長崎県内には、松浦市志佐町及び西海市大瀬戸町松島に石炭火力発電所があり、供給可能な電力は370万キロワットとなっています。

【出所】資源エネルギー庁HP、九州電力HP、電源開発HP

右グラフのとおりインドネシア産石炭の輸入割合は減少傾向ですが、重要なエネルギー源となっています。



インドネシアの概要等について

～インドネシアの国勢状況～



面積	192万平方キロメートル（日本の約5倍）
人口	2億7,000万人（2020年 インドネシア政府統計）
首都	ジャカルタ
民族	約300（ジャワ人、スンダ人、マドゥーラ人等マレー系、パプア人等メラニシア系、中華系、アラブ系、インド系等）
言語	インドネシア語
宗教	イスラム教 86.7%、キリスト教 10.7%、 ヒンズー教 1.7%、仏教 0.8%（2019年 宗教省統計）
政体	大統領制、共和制
主要産業	製造業（GDPに占める割合 19.2%） 農林水産業（同 13.2%） 卸売・小売（同 12.9%） 鉱業（同 8.9%）
GDP	10,584億ドル（2022年 世銀統計）
一人当たり GDP	4,349.5ドル（2021年 インドネシア政府統計） 【参考】2021年の日本の一人あたりは40,034ドル（内閣府 国民経済計算より）

貿易公表の特集記事に関連して

～～貿易統計についての豆知識～～



長崎県内でも対馬（壱岐も）は門司税関の管轄なんです。

長崎県内に所在する税関官署とは

長崎県内には、右図に示したとおり6つの税関官署が所在しており、長崎県内全域を管轄しています。
今回の特集記事である「長崎県とインドネシアとの貿易動向について」の貿易額は、これらの税関官署が管轄する地域に貨物が設置され、輸出入申告が行われ、許可となった金額となります。

対インドネシアの貿易額とは

今回の特集記事である「長崎県とインドネシアとの貿易動向について」の貿易額は、長崎県内に所在する税関官署で輸出入申告が行われ、許可された貨物のうち
輸出：仕向国がインドネシアである
輸入：原産国がインドネシアである
の貿易額となります。

貿易統計のもととなるデータは

貿易統計は、輸出入申告が行われ税関が許可した貨物に係る「数量」や「価格」などを集計したものです。
現在、輸出入申告の約98%はNACCSと呼ばれるシステムを介して行われており、システム処理された情報とマニュアル申告（輸出入申告が税関窓口で行われたもの）の実績を集計して作成されています。



こぼれ話

外国から「出島」に上陸し積みついたのが「尾曲がりネコ」の始まりだそうです。



1 南蛮貿易における海上保険の契約条件

当時の木造船ではネズミ害対策として「猫」を乗せることが海上保険の契約条件となっていたそうです。

2 2月22日は何の日？

ペットフード協会が昭和62年（1987年）に制定した「猫の日」です。これは「にゃん（2）にゃん（2）にゃん（2）」の語呂合わせによるものです。ちなみに「国際動物福祉基金」が制定した「世界猫の日」は8月8日だそうです。

3 コーヒーブレイク

右の写真は「グラバー園」近くの美術館を併設した喫茶店で提供されているコーヒーです。

江戸時代、海外との貿易港であった長崎には多くの「事はじめ」があり、コーヒーもその一つで、現在のジャカルタで栽培されていたコーヒー豆が長崎に伝わってきたそうです。

店主によると文献を参考に幕末当時の製法で焙煎したものであり、使用しているカップは幕末頃に製造されたものらしいとのこと、不揃いな形がコーヒーの味わいを深めている気がします。

